



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 株式会社ビーイング 上場取引所 大  
 コード番号 4734 URL <http://www.beingcorp.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)末広 雅洋  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)後藤 伸悟 (TEL) (059) 227-2932  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,722	3.7	110	—	116	—	110	—
23年3月期第2四半期	1,660	△6.2	△13	—	△3	—	△43	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 101百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △17百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第2四半期	14	08	—	—
23年3月期第2四半期	△5	59	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,212	—	1,805	—	42.9	—
23年3月期	4,114	—	1,704	—	41.4	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,805百万円 23年3月期 1,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00	0 00
24年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00	0 00
24年3月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,400	4.5	150	—	160	—	200	229.6	25	42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	8,257,600株	23年3月期	8,257,600株
24年3月期2Q	392,190株	23年3月期	391,240株
24年3月期2Q	7,866,246株	23年3月期2Q	7,866,360株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、当社グループはパッケージソフトウェアの開発・販売を主たる事業としているため、当社グループの業績は売上高の増減がそのまま営業利益に反映するという特徴があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災で被害を受けたサプライチェーンの立て直しが進み、生産は回復傾向にあります。しかしながら、引き続き電力の安定供給に不安を抱えており、また円高が一層進むなどの影響が懸念されております。

そのような状況の中、当社グループでは、建設関連事業を中心に顧客ニーズを速やかに商品に取り込む開発体制を構築し、商品力の強化を進めてまいりました。また、設備関連事業では、新たに北海道に支社を開設するなど、営業エリアを拡大してまいりました。

このような取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,722百万円と前年同期に比して62百万円(3.7%)の増収となり、経常利益は116百万円(前年同期は、経常損失3百万円)となりました。

四半期純利益については、前年同期にあった有価証券評価損(33百万円)がなかったことなどから、110百万円(前年同期は、四半期純損失43百万円)となりました。

セグメント毎の業績は、次の通りであります。

#### (建設関連事業)

建設関連事業につきましては、地域ごとに異なる顧客ニーズに沿った商品の改良を進めたことにより、特に西日本を中心に販売を拡大いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して3.8%増加し1,376百万円となりました。セグメント利益は、ソフトウェアの償却負担が減少したことや、不採算プロジェクトの見直しなどによるコスト削減の効果もあり91百万円(前年同期は、セグメント損失15百万円)となりました。

#### (設備関連事業)

設備関連事業につきましては、北海道など従来営業展開してこなかったエリアへの進出により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して3.5%増加し345百万円となりました。また、売上高の増加に伴いセグメント利益は、前年同期に比して17百万円増加し30百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、流動資産において現金及び預金が254百万円増加し受取手形及び売掛金が134百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて98百万円増加し、4,212百万円となりました。

負債につきましては、買掛金が4百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて3百万円減少し、2,406百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益110百万円などにより、前連結会計年度末に比べて101百万円増加し、1,805百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.5ポイント増加し、42.9%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて279百万円増加し、1,027百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は267百万円（前年同四半期は15百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益111百万円や売上債権の減少134百万円などによる収入があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により獲得した資金は12百万円（前年同四半期は62百万円の支出）となりました。これは、定期預金の払戻による収入25百万円（純額）などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は0百万円（前年同四半期はありません。）となりました。これは、リース債務の返済などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、当期上半期は当初計画にそって好調に推移しておりますので、平成23年5月13日に公表した通期業績予想の達成を目指し、さらに次年度以降の展開の基盤を築くべく、まい進してまいります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,298,235	1,552,710
受取手形及び売掛金	578,039	443,991
有価証券	716,437	712,216
商品及び製品	1,234	691
原材料及び貯蔵品	5,547	6,734
繰延税金資産	123,692	132,559
その他	22,402	25,832
貸倒引当金	△1,520	△1,740
流動資産合計	2,744,071	2,872,997
固定資産		
有形固定資産	245,278	240,735
無形固定資産		
のれん	372,924	362,369
その他	45,809	35,198
無形固定資産合計	418,733	397,567
投資その他の資産		
投資有価証券	367,049	362,158
その他	357,753	357,558
貸倒引当金	△18,544	△18,625
投資その他の資産合計	706,258	701,090
固定資産合計	1,370,271	1,339,393
資産合計	4,114,342	4,212,390
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	43,682	39,128
未払法人税等	20,556	14,670
前受収益	734,862	729,273
賞与引当金	103,069	110,949
その他	160,465	166,815
流動負債合計	1,062,635	1,060,837
固定負債		
退職給付引当金	295,039	302,034
役員退職慰労引当金	1,775	2,285
繰延税金負債	295	114
長期前受収益	1,046,173	1,038,058
その他	3,887	3,401
固定負債合計	1,347,171	1,345,893
負債合計	2,409,806	2,406,730

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	197,982
利益剰余金	75,578	186,319
自己株式	△85,513	△85,609
株主資本合計	1,774,548	1,885,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△70,012	△79,532
その他の包括利益累計額合計	△70,012	△79,532
純資産合計	1,704,535	1,805,660
負債純資産合計	4,114,342	4,212,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,660,394	1,722,437
売上原価	508,052	455,163
売上総利益	1,152,342	1,267,274
販売費及び一般管理費	1,165,416	1,156,306
営業利益又は営業損失(△)	△13,074	110,967
営業外収益		
受取利息	8,747	7,292
受取配当金	132	132
雑収入	2,114	669
営業外収益合計	10,994	8,094
営業外費用		
支払利息	—	25
投資事業組合運用損	—	681
雑損失	1,667	2,107
営業外費用合計	1,667	2,814
経常利益又は経常損失(△)	△3,747	116,246
特別利益		
貸倒引当金戻入額	135	—
特別利益合計	135	—
特別損失		
固定資産除却損	156	2,769
固定資産売却損	122	—
有価証券評価損	33,624	—
投資有価証券評価損	—	1,050
事務所移転費用	—	623
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,099	—
特別損失合計	37,002	4,442
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△40,614	111,803
法人税、住民税及び事業税	8,463	9,967
法人税等調整額	△5,100	△8,904
法人税等合計	3,363	1,063
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△43,978	110,740
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△43,978	110,740



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△43,978	110,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,930	△9,520
その他の包括利益合計	26,930	△9,520
四半期包括利益	△17,048	101,220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,048	101,220
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△40,614	111,803
減価償却費	44,752	24,879
のれん償却額	10,554	10,554
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△135	301
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,682	7,879
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18,030	6,995
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	510	510
受取利息及び受取配当金	△8,879	△7,424
支払利息	—	25
有価証券評価損益(△は益)	33,624	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,050
投資事業組合運用損益(△は益)	—	681
固定資産除却損	156	2,769
売上債権の増減額(△は増加)	30,609	134,047
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,109	△643
仕入債務の増減額(△は減少)	3,766	△4,553
未払又は未収消費税等の増減額	△48,196	9,478
前受収益の増減額(△は減少)	7,581	△5,588
長期前受収益の増減額(△は減少)	△60,496	△8,115
その他	8,256	△7,369
小計	△9,272	277,281
利息及び配当金の受取額	7,845	6,919
利息の支払額	—	△25
法人税等の支払額	△14,447	△17,029
営業活動によるキャッシュ・フロー	△15,874	267,145
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△150,000	△125,000
定期預金の払戻による収入	100,000	150,000
有価証券の取得による支出	△300	△184
有価証券の売却による収入	271	—
有形固定資産の取得による支出	△7,908	△2,780
有形固定資産の売却による収入	95	—
無形固定資産の取得による支出	△974	△8,834
投資有価証券の取得による支出	△52,725	△2,099
投資有価証券の売却による収入	48,622	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,840	△2,381
敷金及び保証金の回収による収入	2,079	4,425
保険積立金の積立による支出	△104	△233
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62,786	12,911
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	—	△485
自己株式の取得による支出	—	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△581
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△78,660	279,474
現金及び現金同等物の期首残高	931,291	748,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	852,630	1,027,710

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,326,466	333,928	1,660,394	—	1,660,394
セグメント間の内部 売上高又は振替高	653	—	653	△653	—
計	1,327,119	333,928	1,661,047	△653	1,660,394
セグメント利益又は損失(△)	△15,558	13,038	△2,520	△10,554	△13,074

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,376,831	345,605	1,722,437	—	1,722,437
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,262	1,800	5,062	△5,062	—
計	1,380,093	347,405	1,727,499	△5,062	1,722,437
セグメント利益	91,313	30,208	121,522	△10,554	110,967

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当社は、平成23年10月7日開催の取締役会において、当社が開発したプロジェクト・マネジメント・ソフトウェアをグローバルな市場に向けて販売していくために、米国において子会社を設立することを決議し、平成23年11月3日に設立いたしました。

1. 子会社の概要

- |          |   |
|----------|---|
| (1) 名称   | Being Global Services LLC.              |
| (2) 所在地  | 705 SW Oak Road, Port Orchard, WA 98367 |
| (3) 代表者  | David Updegrove                         |
| (4) 事業内容 | プロジェクト・マネジメント・ソフトウェアの販売                 |

2. 出資金及び出資比率 (予定)

- |          |                  |     |
|----------|------------------|-----|
| (1) 出資金  | US \$500,300     |     |
| (2) 出資比率 | 当社               | 70% |
|          | David Updegrove  | 15% |
|          | Hilbert Robinson | 15% |